

令和3年度 地方創生推進交付金事業に係る効果検証結果

交付対象事業名称		事業開始	事業終期		
次世代に魅力と資源をつなぐたらぎ地域づくりプロジェクト		令和2年度	令和4年度		
事業概要					
<p>多良木町しごと創生機構を事業推進の核として組織機能を強化し、商品開発や販路拡大、企業の誘致において高度化した事業展開を行い、多くの人材・商品・資金・情報を循環させた新しい価値の創造に繋がるよう当該機構の体制強化を行うとともに、商品高度化事業、グローバル人材育成事業の取り組みを行う。</p>					
事業費（千円）	うち交付金額（千円）		主な支出項目（千円）		
42,128	21,064		多良木町しごと創生交付金 42,128 (一般財団法人たらぎまちづくり推進機構へ)		
重要業績評価指標 (KPI)①	計画時 (令和元年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成状況 (R3年度)	目標年月
支援事業をととした就業・企業等による新規雇用者数(人)	31	5 (累計10)	4 (累計9)	地方創生に相当程度効果があった	令和5年3月31日
重要業績評価指標 (KPI)②	計画時 (令和元年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成状況 (R3年度)	目標年月
推進組織の販売額（千円）	27,799	5,000 (累計7,000)	5,019 (累計11,890)	地方創生に非常に効果的であった	令和5年3月31日
重要業績評価指標 (KPI)③	計画時 (令和元年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成状況 (R3年度)	目標年月
人材育成プログラム延べ参加者数(人)	0	20 (累計30)	246 (累計355)	地方創生に非常に効果的であった	令和5年3月31日
総合戦略の位置付け					
基本目標1 多良木町を支える安定した雇用を創出する			多良木町における従業者数を維持する 数値目標：従業者数3,200人の維持		
評価		今後の方針			
<p>令和2年10月に一般財団法人たらぎまちづくり推進機構を立上げてから2年目となり、1年目に引き続き、雇用の創出、人材育成、商品高度化に取り組み、一部でKPIを達成できていないが、全般的に見ると地方創生に効果があったと言える。</p> <p>加えてIT人材育成事業やドレッシングの商品高度化事業において、企業や大学との連携にも取り組み、外部人材と関係を深めることができ、関係人口の増加にも効果があった。</p> <p>1年目の課題であった一般財団法人たらぎまちづくり推進機構活動の地域への周知にも、広報活動やイベントをとおして取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたこともあり、取組みが十分に地域に認識されているとは言い難い状況であるため、今後も引き続き広報活動を推進して行く必要がある。</p> <p>推進交付金事業としては令和4年度が最終年度となることから、交付金事業終了後を見据え、更なる地域連携や安定的な財団運営に向け、取組みを推進していく必要がある。</p>		<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止に努めながら、一般財団法人たらぎまちづくり推進機構を中心として雇用の創出、人材育成、商品高度化など、地方創生推進事業に取り組み、KPIの達成や関係人口の増加を目指す。</p> <p>併せて、広報活動、地域連携及び自主財源確保などの取組みを推進し、推進交付金事業終了後も、安定的に一般財団法人たらぎまちづくり推進機構が運営できる体制を整備する。</p>			